

# いいね! 恵那市公式SNS

市では、Facebook や Twitter、LINE、Instagram、YouTube といった SNS を通し、いろいろな情報を発信しています。「いいね！」やフォローをすると、市からの情報を受け取れます。あなたの身近に、ぜひ市公式 SNS を。  
☎ 総務課 (内線 324)



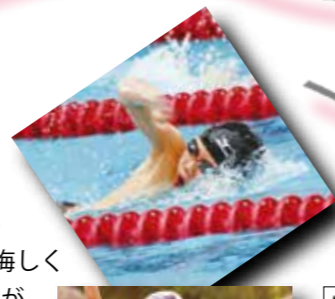
## Twitter 始めました! きめ細やかな情報をお届けします

市公式 Twitter を始めました。観光やイベント、市政情報など、市からのお知らせを幅広くツイートし(つぶやき)ます。大雨や地震などの災害が起こったときは、発生状況や避難情報などを随時配信します。ぜひ「@enacityofficial」をフォローして、恵那市からの情報を受け取ってください。



## Instagramキャンペーン #君の輝き2020恵那

新型コロナウイルス感染症の影響で、長期的な休校となりました。部活や校内活動が思うようにできなくなったり、多くの大会やコンクールが中止になりました。「せっかく本番に向けて頑張ってきたのに」と、悔しくやり切れない思いを抱えている人もたくさんいます。そこで市では、皆さんが頑張ってきた証しを発表するキャンペーンを行います。今年の本番に向けて頑張ってきた練習風景や表情、道具やグラウンド、体育館などの写真を、ハッシュタグ「#君の輝き 2020 恵那」を付けて Instagram に投稿してください。皆さんの輝きを恵那市公式 Instagram でリポストして紹介します。期間は 10 月 31 日(日)まで。たくさんの投稿をお待ちしています。  
※被写体の人物への許可などについては、投稿者自身の責任で投稿ください



## 市公式 LINE

友だち登録すると  
お得なクーポンが  
もらえます。

8月2日(日)に展示をリニューアルする「麒麟がくるぎふ恵那 大河ドラマ館」の入場料が 20%引きになるクーポンを配信。



## プロの料理教室を 動画 で見られます

毎年好評を博している、プロの料理人による料理教室。今年は新型コロナウイルス感染症の影響で、開催を見合わせていました。そこで、料理教室を動画で配信していきます。第1回の講師は、季節郷土料理湖楽園の藤下光司さん。串原にある「なががき農園」のトマトを使ったレシピを紹介します。動画には、生産者の中垣野歩さんも登場し、素材の魅力を伝えます。今後、いろいろな料理人や農家、食生活改善推進員が登場します。



その他の話題もウェブサイトに掲載

# ニュースと話題 NEWS & TOPICS



6月16日

アマビエを描いて「コロナウイルスの退散を願う」

武並こども園の5歳児と4歳児40人が、こども園の駐車場に描いた、疫病を退治するといわれている妖怪「アマビエ」にチョークで色を塗って、新型コロナウイルスの退散を願いました。思い切り遊ぶことが制限されている園児らは「コロナウイルスをやっつけたぞ」と歓声を上げました。



6月12日

コロナ禍で戦う医療機関と教育施設へ寄付

イシデンエンジニアリング株式会社(大井町)と石原電機株式会社(中津川市)を含むイシックスグループは、新型コロナウイルス感染症の流行で厳しい状況下にある医療機関や教育施設を支援するため、市へ1,000万円を寄付しました。小坂市長は「大変感謝します。有効に使わせていただきます」とお礼を述べました。



6月29日

「医療や福祉の従事者を応援したい」と寄付

新型コロナウイルスの感染リスクと隣り合わせの状況で懸命に働いている医療や福祉の従事者を応援したいと、株式会社アミックスコム(長島町)がフェイスシールド1万枚を市に寄付しました。同社の伊藤義仁代表取締役社長は「創業13年、ケーブルテレビ普及のため市と歩んできた。恩返しをしたい」と話しました。



6月28日

自分や社会を見つめ、中学生が思いを述べた

第16回市少年の主張大会に各中学校から推薦を受けた生徒10人が出場し、意見を発表しました。最優秀賞は、恵那北中学校3年生の額額ゆいさん。「あなたへ伝える想い」と題し、小学生の頃に訪れた広島での体験を通して、自分の戦争への思いが変わったことを発表しました。額額さんは、東濃ブロック大会に推薦されます。



7月14日

恵那のおいづまんと、出荷が始まる

市の特産品の一つである夏秋トマトの出荷が始まり、市夏秋トマト生産協議会の役員が、市長に報告に訪れました。同協議会会長の井口英博さんは「出足は好調だったが、最近は雨が続き心配している。何とか踏ん張って乗り切りたい」と話しました。「ひがしみの麗夏」の出荷は、11月上旬ごろまで続きます。



7月6日

自分自身の花を咲かせてと、中学校に書画寄贈

恵那観光大使で岩村町在住の「心の書画家」伊藤一樹さんの後援会から、新型コロナウイルスによる臨時休校などの影響で、不安を感じている思春期の子どもたちを応援したいと「あなただからこそ咲かせることのできる花がある」の文字と、ヒマワリの花が描かれた伊藤さんの書画が、市内の8中学校に1作品ずつ寄贈されました。